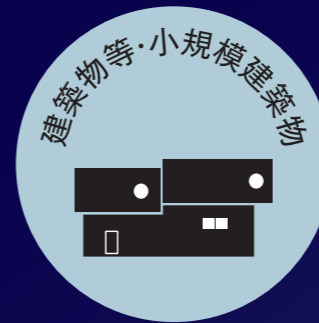


2017

# 第17回堺市景観賞 選集



## 第17回堺市景観賞 選集

平成30年2月 発行

堺市建築都市局 都市計画部 都市景観室

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

☎:072-228-7432 FAX:072-228-8468

メール tokan@city.sakai.lg.jp

URL <http://www.city.sakai.lg.jp/>

堺市行政資料番号 1-J1-17-0302

# 第17回堺市景観賞の概要

## ○趣旨

堺市内の優れた景観に資する建築物や工作物、屋外広告物、まちなみ及び良好な景観形成に貢献する活動について、広く市民の皆さまに知っていただくほか、その事業関係者を堺市長が表彰、あるいは優良なものとして認定することにより、市民や関係者の意識醸成を図り、魅力ある景観の創出を促進するものです。

## ○応募対象及び選考対象物件

堺市内にある次のものが対象です。

部門	対象
建築物等部門	概ね15年間(平成14年4月から平成29年6月まで)に新設、補修、改修等を行い完成した次のもので、以下の①～⑤のいずれかに該当すると思われるもの。 ただし、下欄「小規模建築物部門」の要件を満たすものは除く。 ○建築物: ビル、店舗、集合住宅など ○工作物: 橋梁など ①先進的なデザイン等を取り入れ、まちのシンボルとなるような魅力を発信しているもの ②地域特性(地形、自然、歴史、文化)を読み解き、これらとの調和に配慮したもの ③周辺のまちなみに調和し、地域の景観を引き立たせているもの ④緑化などにより、ゆとりと潤いある景観を創出しているもの ⑤良好な維持管理が図られているもの
小規模建築物部門	概ね15年間(平成14年4月から平成29年6月まで)に新設、補修、改修等を行い完成した次のもので、上欄の①～⑤のいずれかに該当すると思われるもの ○建築物: 戸建住宅、併用住宅、小規模店舗・事務所等 高さ10m以下、地上4階未満かつ延べ面積500㎡以下のもの
歴史的建造物部門	昭和25年以前につくられた建造物で、以下の要件に該当すると思われるもの (※神社、仏閣は対象外) ①必要な修繕や改修等を適切におこない、外観を維持・保全しているもの ②地域のシンボリックな存在感を有し、良好な景観を形成しているもの(町家や洋館等)
景観活動部門	地域の景観に関する情報発信や意識啓発などの活動で、以下の要件に該当すると思われるもの ①まちなみ及び良好な景観形成に貢献しているもの ②活動が5年以上継続して実施されているもの (例: 景観に関する学びの場づくり、地域協力による景観形成の取組みなど)
まちなみ部門	良好な景観を形成し市民の誇りとなる風景や場所など
堺すてきサイン	良好な維持管理が図られている屋外広告物のうち、以下の要件に該当すると思われるもの ①周辺のまちなみや建物と調和し、地域の魅力を高めている ②個性ある良質なデザインや工夫を有し、人々を楽しませ、潤いを与えている ③必要最小限の表示で必要な情報をわかりやすく発信している
※次のものは、対象外とする。 ① 法令等に違反しているもの ② 堺市が施行したもの(設計者や施工者は対象とする) ③ 文化財保護法その他条例等による指定等を受けているもの ④ 過去に堺市景観賞で表彰されたもの ⑤ 暴力団等とかかわりのある物件の所有者等 ⑥ 表彰にふさわしくない行為や事情があった者	

## ○募集

募集期間: 平成29年7月3日(月)から平成29年8月31日(木)  
 応募状況: 応募物件51件  
 (建築物等部門14件、小規模建築物部門21件、歴史的建造物部門1件、まちなみ部門2件、景観活動部門1件、堺すてきサイン12件)

## ○選考方法

- ★一次選考 景観賞選考委員会委員による書類選考審査 平成29年9月13日(水)
- ★市民投票 電子投票(ホームページ) 平成29年10月16日(月)～11月10日(金)  
直接投票(堺市役所内) 平成29年10月23日(月)～11月2日(木)(※土日は除く)
- ★二次選考 景観賞選考委員会委員による現地審査等 平成29年11月15日(水)



一次選考の様子



現地審査の様子

## ○選考委員会委員(敬称略)

- |      |        |                          |
|------|--------|--------------------------|
| (会長) | 藤本 英子  | 京都市立芸術大学大学院美術研究科教授       |
|      | 下村 泰彦  | 大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科教授 |
|      | 上野 あきら | 堺デザイン協会理事長               |
|      | 橋寺 知子  | 関西大学環境都市工学部准教授           |
|      | 濱田 徹   | 公益社団法人大阪府建築士会副会長         |


## 総評

### 藤本 英子 堺市景観賞選考委員会会長/京都市立芸術大学大学院美術研究科教授

第17回は、従来の建築物、歴史的建造物、景観活動部門に加え、新たに小規模建築物部門、堺すてきサインの選定を行った。応募数51件の中から、審査員による選考と市民による投票から二次選考に進んだものについて、現地確認後に最終審査を実施した。建築物部門では、『ファイブヒルズ樺』が低層の集合住宅で街には閉じながらも、道路に提供している外苑が、地域貢献として評価された。初の小規模建築物部門では、匠を尽くした豪邸から、小規模の敷地を活かした家まで、それぞれの価値が評価され、いずれも譲り難く3件を選ぶに至った。歴史的建造物にあたる『佐助』は、さらなる補修に期待しつつ、惜しくも特別賞となった。府立農芸高校については、道路に面して整備された「門・百年の丘」について評価しながらも、学生たちによるツツジ並木維持への情熱に心打たれ、景観活動部門として評価した。まちなみ部門は、公共が維持してきた街路樹であるが、今後の行政内での景観意識の向上に一役買えれば幸いである。



## ファイブヒルズ櫛

建築物等部門 




奥行きのある敷地にゆったりと建てられた低層の集合住宅である。前面道路に面した部分は、近隣の人々にも楽しめる庭として多様な植栽と舗装が施され、街に潤いと余裕をもたらしている。近年、セキュリティ一面から集合住宅の外観は閉鎖的になりがちだが、ここではエントランスから敷地内通路や庭がかいま見え、街との親和性が感じられる。建物外壁はいくつかの素材を組み合わせ、周辺のまちなみのスケールになじませている点も評価できる。

(橋寺 知子)

所在地 堺区  
建築主 株式会社ファイブランド  
設計者 積水ハウス株式会社大阪南シャームゾン支店  
施工者 積水ハウス株式会社大阪南シャームゾン支店

## 北三国ヶ丘の家

小規模建築物部門 




敷地は住宅街の中の狭い道路に面しているが、綺麗に整備された広場を正面にし、反正天皇陵古墳や方違神社につながる恵まれた環境にある。周辺道路の軸線から45度振れた前面道路に平行に設けた塀に対し建物は斜に構えた配置となっている。建物の佇まいは一見落ち着いた雰囲気のある端正な和風である。ただよく見ると、軸線を振った配置に加え、低く抑えた塀、幾重にも重なる銅板一文字葺のシャープな切妻屋根、妻壁の木格子、印象的な丸窓等、緻密にデザインされた意匠があちこちに散りばめられ、重厚でありながらどこか洒落で和洋を超越した秀逸な建築となっている。こうした建築の存在が堺のまちなみの懐の深さにつながっているのであろう。

(濱田 徹)

所在地 堺区北三国ヶ丘町  
建築主 深江 夏樹  
設計者 野村充建築設計事務所  
施工者 株式会社徳岡工務店

## 小さな家

小規模建築物部門 

狭隘な道路に面する建て込んだ住宅地で、プライバシーを保ちながらまちなみにも配慮した住宅をいかに実現するか。その難題へのチャレンジがこの建築である。外光の入る道路側に庭を設け、通常であれば視線を避けるため塀を築く。そのプロセスを再考し、塀を建築と一体化し、外壁を鋭角的に大胆に切り取る。その開口から庭木が街路側に顔を出す。何だろうと思わせるユニークな佇まいが街に語りかけてくる。妻壁に穿たれた象徴的な開口の格子扉や雨の汚れにも配慮した外壁の水切ディテール等、ミニマルで質の高い建築である。「閉じながら開く」小住宅の、街への関わり方の一つの形ではあるが、まちなみにより親和するための新たな試みと進化に期待したい。

(濱田 徹)



所在地 西区  
建築主 個人  
設計者 アドヴァンスアーキテクト株式会社  
施工者 アドヴァンスアーキテクト株式会社

本戸建住宅は、ファサードをYR系の色彩で統一することにより、落ち着いた暖かみのある景観を呈するとともに、周辺環境との調和が図られている。また、隣接する12階建ての高層集合住宅側に寄せて3階部分を設置し、反対側2階の集合住宅側は高さを2階に抑えることにより、スカイラインの連続性が図られている。前面道路側エントランス部に関しては、舗装において乱形の割肌石とインターロッキングとの境界を曲線的に仕上げ、柔らかいイメージが創出されている。さらに、3箇所に分散配置された植栽枦には、春に白色の花を付ける常緑のハクサンボク、秋に赤く紅葉するコハウチワカエデなどが植栽され、四季の変化が演出されている点が評価される。

(下村 泰彦)



写真：西川公朗

所在地 西区  
建築主 個人  
設計者 METAPH建築設計事務所  
アドヴァンスアーキテクト株式会社  
施工者 アドヴァンスアーキテクト株式会社



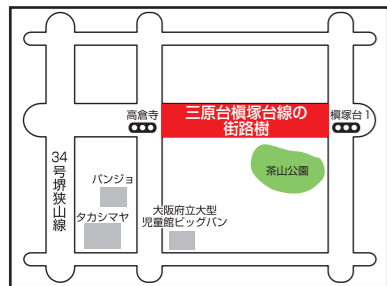
## 三原台榎塚台線の街路樹

まちなみ部門 ▲🏠



南区三原台から榎塚台を南東に走る、4車線道路（片側2車線）の『三原台榎塚台線の街路樹』が、まちなみ部門で選出された。春夏は緑、秋は紅葉と閑静な住宅街に潤いある景観を生んでいる。中でも高倉台1丁から榎塚台1丁の交差点間、約1kmの中央分離帯に整然とそびえる、70数本のワシントンヤシの並木が壮観である。背丈の短いヤシが数本あるが、それらは景観の維持保全のために新しく植え替えられたものと見受けられた。丘陵地に開発された泉北ニュータウンの街作りのシンボルロードとして、ショッピングモールへと続くアプローチを描き、近隣の人々の生活に密着した、愛着を感じる景観となっている。

(上野 あきら)



所在地 南区茶山台3丁地先

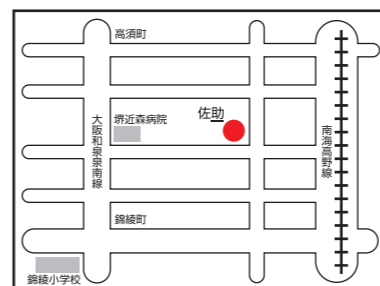
## 佐助

歴史的建造物部門 🏠【特別賞】



1925（大正14）年に建てられた鉄鍛冶工房で、工房と住居・店舗棟が併置されている。住居・店舗棟の外壁は銅板張りで、あざやかな緑青が歴史を感じさせ、古くから刃物を扱ってきた堺らしい景観である。窓の格子など、細部のデザインもよく残る。玄関横の小さなショーウィンドウには現代的なしゃれたサインが設置され、伝統の継承と同時に、今、生きている存在であることが示される。漆喰壁や瓦屋根の維持は手間がかかるが、古くて新しい、まちでキラリと光る存在であり続けてもらいたい。

(橋寺 知子)



所在地 堺区北清水町3丁4-20  
所有者 平川 康弘

## 大阪府立農芸高等学校 ツツジ並木

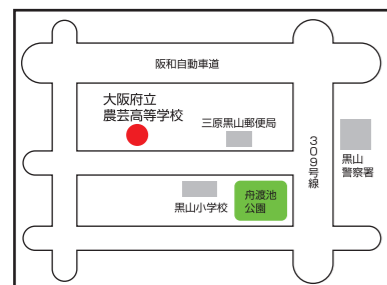
景観活動部門 🧑🏫

大阪府立農芸高校では、75年前に元々農地であった現在の場所に移転されたことにより、農道や畦を利用して周辺住民の通行を確保するために校内に敷地内通路が設置された。その沿道に植栽されたヒラドツツジは、4月下旬から5月にかけて道路脇を濃淡のピンク色に染め上げ、このツツジ並木は、自由に行き交うことのできる住民の方々にとって、地域を代表する景観スポットとなっている。高校生たちは、周辺住民の方々へのおもてなしの気持ちを持って、この良好な景観の維持活動を続けている。ヒラドツツジが浅根性であるといった特性を学習し、春の剪定や夏場の毎日2回の灌水など非常に手間の係る管理作業を実践していることが高く評価された。

(下村 泰彦)



所在地 美原区北余部595-1  
活動関係者 大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科  
代表者 山口美波  
上村玲乃



## 景観こらむ

第17回堺市景観賞の実施にあたり、各区役所において日本や世界の風景などをご紹介する『景観パネル展』を実施しました。多くの皆様に関心をお持ち頂き、「素敵な風景や景色は心を豊かにしますね!」というお声もたくさん頂きました。

かけがえのない自然風景は多くの人々に感動を与えます。また、建物はその創意工夫により様々な表情を持ち、素材・色・形・デザインなどによって創られる“その表情”は、地域に溶け込みながらも、個性豊かに周りの人々を楽しませます。さらに、その表情が調和することにより、まちなみとしての魅力が一層高まることにも気付きます。



曾爾高原



白川郷



メキシコ国立自治大学の壁画



ラパス(ボリビア)の眺望

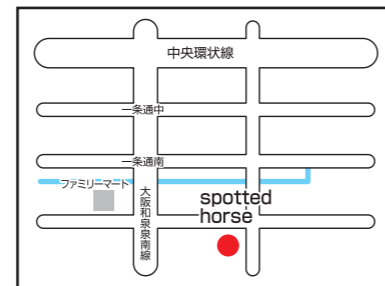


クスコ(ペルー)のまちなみ

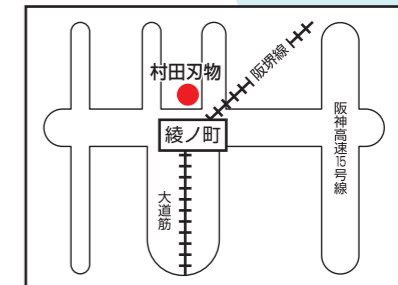


今回、堺市内の優れたサイン（看板等の屋外広告物）を『堺すてきサイン』として認定する新たな部門を設けました。

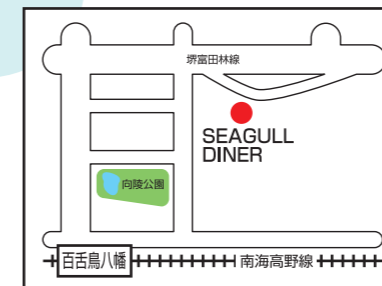
多数のご応募・ご推薦を頂き、「周辺のまちなみや建物との調和、地域の魅力向上、個性ある良質なデザインや工夫、人々を楽しませ、潤いを与える、必要最小限の表示で必要な情報をわかりやすく発信」といった観点から、9つの素敵なサインが選ばれました。



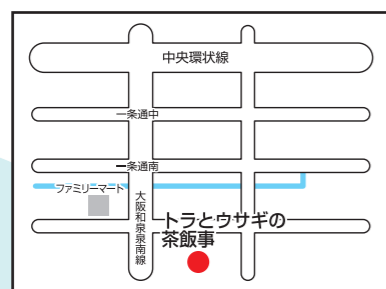
■ spotted horse (堺区二条通2-17)



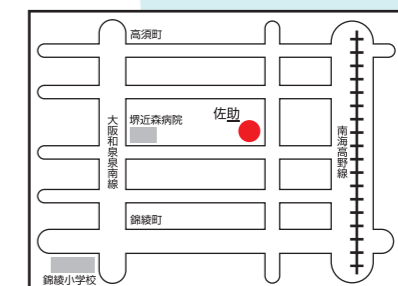
■ 堺菊虎本舗 村田刃物 (堺区綾之町西1-1-29)



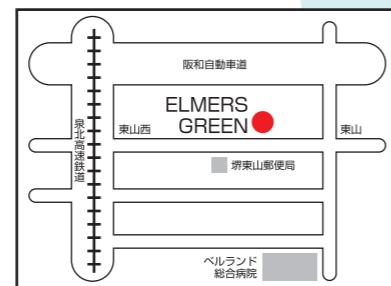
■ SEAGULL DINER (北区中百舌鳥町1-5)



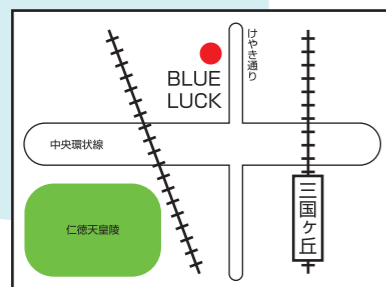
■ トラとウサギの茶飯事 (堺区二条通2-18)



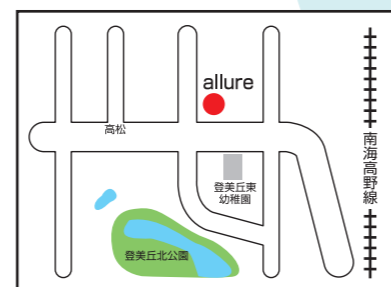
■ 佐助 (堺区北清水町3-4-20)



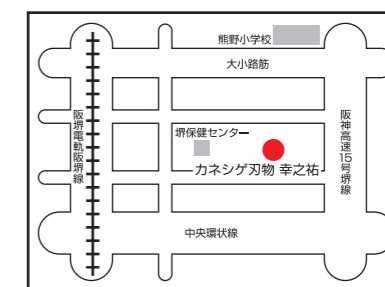
■ ELMERS GREEN COFFEE & BAKES (中区東山765-1)



■ BLUE LUCK (堺区榎元町5-9-13)



■ allure (東区高松226-4)



■ カネシゲ刃物 幸之祐 (堺区甲斐町東4丁3-26)

### 【堺すてきサイン 総評】

初めての選定にあたり、12件の応募を頂いた。応募されたものも、選ばれたものも、今回は規模の小さなサインであった。『佐助』は歴史的な店舗に違和感なく収まっている。『カネシゲ刃物幸之祐』は暖簾と壁面のワンポイントで、シンプルな外観に味を添えている。『ELMERS GREEN COFFEE & BAKES』は広い敷地ながらも、道路から奥まったところに置かれる目立たないサインだが、住宅街ならではの評価である。『トラとウサギの茶飯事』、『堺菊虎本舗 村田刃物』、『BLUE LUCK』では、サインが複数出されているにもかかわらず、そのデザインイメージの統一が図られ、外壁デザインとの調和の中でその役割を果たしている事を評価した。『spotted horse』は商品のジーンズがそのまま看板になり、『allure』では立体サインが個性的に、『SEAGULL DINER』は外壁を引き立てながら、それぞれの個性をサインで輝かしている事を評価した。この選定をきっかけに、今後堺市にすてきなサインが増幅していく事を望んでいる。

(藤本 英子)